

いめんやす

同窓会訪問記・山城クラブ

一一九という数字に驚きました。毎月開催から二ヶ月に一回、年三〜四回、そして十年ほど前から春と秋の年二回開催が定着して今回が一一九回となったようです。

六月二十二日、あとり。にて過くは長崎から、日々の家族の介護から解放され、息抜きの大きな楽しみとしてかけつけた女性など、男女三十五名ずつの七十五名の出席でした。

開会挨拶でお二人の重要無形文化財、人間国宝の方が紹介されました。春の叙勲を受けられた竹十雄の早川修平氏、迎賓館の玄関ホールには早川氏の作品が調度品として飾られています。

もうお一人は京舞の故井上八千代氏次男の片山慶次郎氏です。お二人とも重い立場にありながらも、山城クラブの例会をいつものごくと楽しんでいました。

鴨川を眺めての宴席に、常連の方も久々の方も京料理に舌鼓をうち、弾む思い出話はつきることがありませんでした。